

かわさき商工人

▷ 62 ◁

河野エムイー研究所は、家庭で簡単に塩分摂取量を測定できる簡易測定機「減塩モニタ」の製造・販売を行う会社だ。

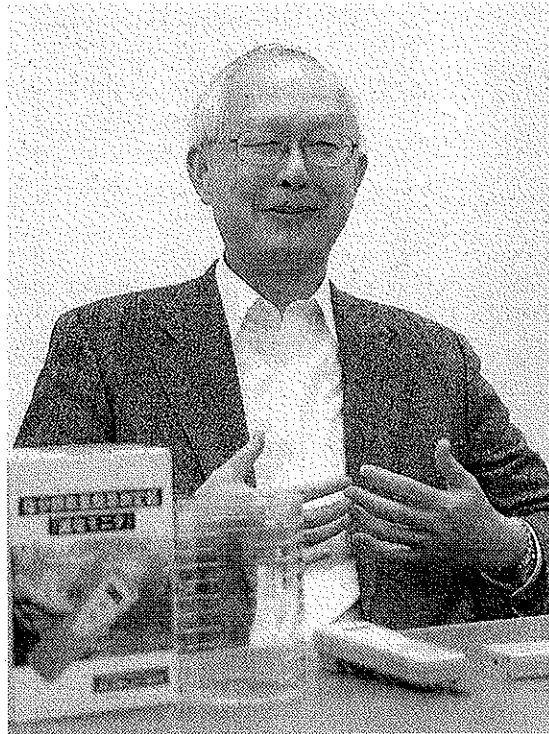
河野英一社長は、東大工学系大学院修士課程を修了し、大手メーカーの開発研究所に就職。28年間、精密実装技術研究開発などに従事した。金属同士を接合する際に利用する「はんだ」から、人体に有害な鉛を取り除く技術や携帯電話の軽量化にもその技術は応用され、その研究成果の活用幅は広い。

しかし「技術研究は、製品化されれば目に見えて便利になったと人は言うが、開発研究しているわれわれには直接消費者との接点はなかった」と話し、「人に役立つ製品を作って、皆さんの喜ぶ顔が見たい」との思いか

(株)河野エムイー研究所

社長 河野 英一さん(62)

「家庭では、計測方法が分からないまま苦労している人は多いはず」と話す河野社長



「減塩モニタ」開発

できない。そこで早朝の尿から統計データに基づき数値を推定する「減塩モニタ」を開発。「計測器として正確さが大切で、そのためにもセンサーが重要になってくる」と、決して平たんではなかったと振り返る。

「医者から減塩を指導された方や塩分摂取量を気にされている方が多いはず。今後はそういう方にもアプローチできるようにしていきたい」と今後の経営を語った。

(川崎商工会議所企画広報部

白土 慎)

ら、同社を起業したのだと言う。取量を計測する機械がないのに、そして横浜市大医学部の教授と親交を持ったことで、医療分野で人の役に立つ製品を作ることを目指す。

め、病院などでは24時間尿をためて計測するのだが、そのような計測方法は一般家庭では到底

として河野社長は、血圧計や血糖測定器が出回る中、塩分摂取量を計測する方法は一般家庭では到底